

鍾乳洞 & やいま村



石垣島鍾乳洞を歩く

大自然に触(ふ)れた リスザルにも触(さわ)れた

修学旅行
取材日記



8時30分、1・2・6・8組がロイヤルマリンパレスを出発し、石垣島鍾乳洞へ向かった。この鍾乳洞は他の鍾乳洞が10年で1ミリ成長するのにに対して3年に1ミリずつ成長を続けている。中は常に22・23度で冬は暖かく、夏は涼しいが、湿度は80%でむわっとした空気に包まれている。

実際に中へ足を踏み入ると頭上から水滴が落ちて「冷たい」、「めっちゃ濡れた」などの声があちこちで聞こえ、ひとつとして同じ形のない大自然の造形物に多くの人がカメラを構え

ていた。また水の流れる音が聞こえる全国唯一の水琴窟やイルミネーションで飾られた鍾乳洞では「きれい」とその光景に魅了された人も見られた。

やいま村へ

石垣島鍾乳洞を見学した後、一行はやいま村へ出発した。やいま村ではリスザルたちと戯れる生徒がたくさんいて、中には猿に餌付けして追いかけまわされる人もいた。およそ1時間、ゆったりと流れる時間の中で展望台に登ったり、ハンモックにゆられたり、民謡を聞いたりしながらまった

りと過ごした。昼食は石垣牛海鮮鉄板焼をいただき、その後、後輩や友達などのお土産を買っていた。(逢)



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

やいま村のリスザル園では、えさを買うとたちまちサルたちに取り囲まれる。写真は、サルに囲まれる生徒。



石垣島鍾乳洞に向かう

上阪先生の三線体験♪



やいま村では、上阪先生が三線にチャレンジされていた。たまたま三線を持っておられた方から借りられたそう。

上阪先生は「青い空の下青く美しい海を眺めながらポロンポロンと音が鳴って心地よかった。また、三線は思っていたよりも弦が柔らかかった。教えてもらうこともできて、幸せな一時だった」と話された。